

# しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成30年6月定例会の内容をお届けします。

2018  
No. 65

平成30年8月10日発行



特集

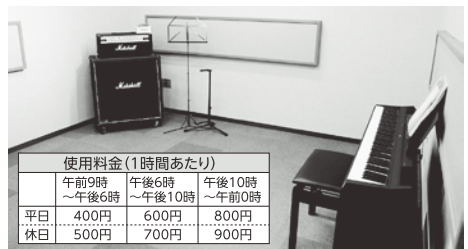
ぴ〜ファイブ  
利用者  
と  
市議会

# 特集

## び〜ファイブ 利用者 と 市議会

音楽施設と室内公園が  
複合した施設です

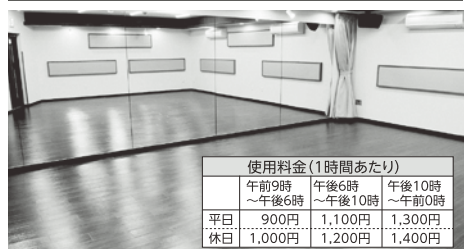
音楽スタジオA 定員4名 14.1m<sup>2</sup>



音楽スタジオB 定員6名 18.9m<sup>2</sup>



音楽スタジオC 定員20名 60.1m<sup>2</sup>



### しまだ音楽広場がび〜ファイブ1階に

### 平成30年3月21日オープン!

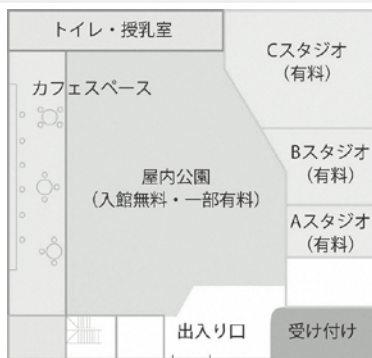
び〜ファイブ1階に音楽施設（公共施設）と屋内公園をイメージした広場（民間施設）を整備した「しまだ音楽広場」が平成30年3月21日にオープンしました。

市民会館閉館後、市内で不足している音楽施設等を整備し、提供するとともに、天候に左右されずに親子等が集い遊べる場として、公園をイメージした広場を設けました。

今回、び〜ファイブ1階の音楽施設Bスタジオで練習していたBadSMELL S（バット スメルズ）のメンバー（表紙）にお話を伺いました。結成14年、バンド名は「もう一度唄ぎたくなる」ということで命名したそうです。広報しまだで「しまだ音楽広場」を知り、利用を始めました。リーダー道下さん（ギター）・田村さん（ドラム）・土屋さん（ベース）の3人組です。

#### 《利用しての感想は?》

- ・以前は、藤枝のスタジオで練習していたが、近くなって便利。
- ・利用料が部屋賃なので、以前より半額以下となり助かる。
- ・ドラムセットが常設なことが良い。
- ・施設は、メンバーの住居の真ん中にあるので集まりやすい。



館内で遊んでいる親子にもお話を伺いました。

《利用頻度(どのくらい来るか?)》

・週に1、2回(3家族が回答)

・初めて(2家族が回答)

・時々(2家族が回答)

《滞在時間(どのくらいいるか?)》

・2時間〜5時間程度

《認知度(どうして知ったか?)》

・ニュース、新聞、広報はまだ

《感想ほか(利用してどうか?)》

・雨天、猛暑の日は過ごしやすい。

・遊具に危険が少ないので安心。

・どこにいても全体を見渡せるので安心。

・ママ友と話ができるので長い時間居ても苦にならない。

・こども館が混んでいるので来た。

・近隣に公園がないので利用している。

・買い物ついでに寄れるので便利。

・子どもと徒歩で来館できるから良い。

・できたばかりできれいだから良い。

・乳児も居ることができから良い。

・1階でそのままつながっているのでアクセスしやすく入りやすい。

・安全に遊べる。

・親子で一緒に遊んでいる様子がほほ笑ましい広場です。

親子で一緒に遊んでいる様子がほほ笑ましい広場です。

# 定例会 の 概要

一般会計2億2470万5000円減額ほか  
旧金中跡地月額120万円で貸付けなど可決

平成30年第2回定例会が、6月1日（金）から6月29日（金）まで、29日間の会期で開催されました。

## 6月1日（金）本会議初日 正・副議長選挙と常任委員改選

島田市議会の議長・副議長選挙が行われ、大石節雄おおいしせつお議長、清水唯史みずただし副議長がそれぞれ選任されました。また、各常任委員および議会運営委員を選任しました。

（しまだ議会だより第64号に掲載）

## 21議案上程

繰越明許費や市税条例の一部改正など専決処分報告等10件、一般会計・病院事業会計など補正予算4件、条例4件、その他3件の計21件の議案が上程されました。

## 6月11日（月）～13日（水）一般質問 議員17人が登壇

議員17人が一問一答による一般質問を行いました。

（8～16ページ）

## 6月15日（金）議案質疑、追加議案3件上程

初日に上程された2議案について質問しました。また、財産の取得3件の議案が追加上程されました。

（5ページ）

## 6月18日（月）～6月19日（火）常任委員会の議案審査

厚生教育・経済建設・総務生活の各常任委員会がそれぞれ半日ずつ分散開催し、3委員会に付託された議案の審査を行いました。

各常任委員会では、本会議に上程された24議案のうち、繰越明許費等の報告7件を除く専決処分の承認・補正予算・条例改正など17件の議案の審査を行いました。

（6・7ページ）

## 6月29日（金）本会議最終日 追加議案上程 19議案可決

3常任委員会での審査内容と結果について各委員長が報告し、2議案について議員延べ4人が登壇し、討論を行いました。採決の結果一般議案2件は賛成多数で、除く15議案が全議員賛成により可決されました。

その後、教育委員の任命、公平委員の選任の2件が追加上程され、全員賛成で同意されました。

議員発議により新たな「議会だより編集に関する特別委員会」の設置が追加上程され、全会一致で可決採択されました。

（17ページ）

Pick up **1**

## 公園内の運動施設に 設置制限はあるのか？

**Q** 都市公園は、市内に何力所あるか。

**A** 122カ所ある。

**Q** 条例改正の経緯は。

**A** これまで、都市公園に設ける運動施設の敷地面積は総計の100分の50を超えてはならないとされていた。今回の改正は、自治体の実情に合わせて、設置率の割合を決めることができ、それを超えてはならないとする条例改正である。

**Q** 島田市の改正内容はどのような内容か。

**A** 市内で最も運動施設の比率が高い横井運動場公園は、島田球場、島田第二球場、人工芝サッカー場を抱え、その占める割合は100分の43である。現時点でも、100分の50を超えるような計画がないため、100分の50と定めた。

**Q** 今後、何らかの施設の整備が必要となり、100分の50を超えるような事態となった場合はどう対処するのか。

**A** まず、公園敷地全体の拡張が必要かを検討し、整備する必要がある場合は100分の50を超える面積割合を条例改正する必要がある。

Pick up **2**

## 行き止まりでも 市道認定される条件とは？

**Q** 大津通り東線について、これまでの路線延長を縮小する理由は何か。

**A** 県道に面した土地が市道により分断されることなく、一団の土地として有効に利用できるように見直したためである。

**Q** 起点が他の道路と接続しない状態となり、公共性が低下するのではないか。

**A** 道路に接続していない行き止まり場所には、車両が転回できる広場を設けるよう規定されている。この場所にもスイッチバックで車両が転回できる広場を設ける。

**Q** 堤下上ノ島線の幅員が16メートルから33メートルと違いがあるが、路線整備の考え方はどうか。

**A** 幅員16メートルの整備だが、他の路線と交差する場所においては隅きりの部分を含むため、最大幅員が33メートルとなる。

**Q** 上ノ島中原線において、起点から先の他の路線への接続はどうか。

**A** 起点部は大井川の堤防に接続する計画だ。大井川の堤防を道路として利用することを国土交通省と調整中である。

**Q** 牛尾山への取り付け道路となるがその勾配はどの程度か。

**A** 道路勾配は最大8パーセントだ。

# 常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属し議案審査に当たります。6月定例会の議案審査は概要のとおりです。

## 厚生教育常任委員会

### 高校生相当年齢へ

### 医療助成拡大

#### 平成30年度 一般会計補正予算

##### ●放課後児童クラブ運営事業

##### ▲補正の内訳は。

六合地区に開設する「ぞうさん放課後児童クラブ」の運営費と開所準備金である。

##### ▲AQ 待機児童が多い地区は、

第一小、第四小、六合東小である。



のんのん保育園に併設

##### ●こども医療費助成費

▲ 高校生相当年齢への医療費助成の内容は。

##### ▲

18歳に到達する最初の3月31日まで高校生相当になる。医療保険で親の扶養になっている約2900人が対象。10月から通院は中学生同様に月4回まで500円の自己負担、入院は無料である。

##### 意見が分かれた議案

◇平成30年度島田市病院事業会計補正予算および島田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例は挙手採決により可決された。  
反対理由は、特定初診料2160円を5400円に増額し、さらに特定再診料2700円を新たに加えることは、受診する人の負担を増やすことになるため。

## 経済建設常任委員会

### 交付金内示額、1割増

#### 平成30年度 一般会計補正予算

##### ●官民連携賑わい創出事業補助金

▲ 今年も「水曜どうでしょうキャラバン」が島田で開催されるが、昨年度との違いは。

##### ▲

7月16日(祝)に開催される。昨年は午後7時までだったが、今年は午後5時までとし、帰りに島田の街中に寄ってもらえ



水曜どうでしょう実行委員会

##### ●土木費

▲ 社会資本整備総合交付金事業の内示額が少ないので減額補正となるが、昨年との比較は。

##### ▲

交付要望額に対して内示率は68・3パーセントである。昨年度よりも10・3パーセント高い。

#### 平成30年度 水道事業会計補正予算

▲ 特別損失の固定資産売却の値引きの理由は。

##### ▲

地下水源南3号は、帳簿価格では180万円である。80万円で売るため、差額の100万円が損失となる。

## 旧金中跡地の減額貸付の経緯は

### 財産の減額貸付について

**Q** 過去に田代のメガソーラーの土地の貸付契約があり、その際には議会に議案として提出されていないが、その理由は、

**A** 田代の土地については、約3・5ヘクタールで年額1350万円で貸しており、適正な価格で契約している。減額ではないので議会には提出していない。

**Q** 減額して契約する場合の議会に諮らなければならない法的な根拠は、

**A** 地方自治法第96条および第237条に、議会の議決なしで土地を減額して貸し付けてはならない旨の規定がある。

### 委員間討議の意見

◇この事業の最大のポイントは、契約を破棄した場合は、更地にして土地を返却しなければならぬこと、この条件は契約書に記載することなので問題はないと考える。◇道路や周辺整備については、県と協議をする中で柔軟に土地利用ができるよう進めてほしい。



旧金中跡地のアウトレットモールイメージ図



## マチイロ マチを好きになるアプリ



議会だよりが広報紙配信スマートフォンアプリ「マチイロ」で閲覧可能になりました。下のQRコードからダウンロードできます（無料）。



「広報紙」をタッチすると右の画面に移行します。「しまだ議会だより」をタッチして閲覧してください。

市長に質す！<sup>ただ</sup>

# 一般質問



市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に「一般質問」を行います。

島田市議会6月定例会では、17人の議員が個人質問を実施しました。全議員が一問一答方式（議員が一つの質問を市長等も一つずつ答弁する方式）を選択し、50分間の制限時間の中で質問を行いました。

今号では、17議員の個人質問の内容の一部を紹介します。

興味を持った質問はありますか？

一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。録画映像は、パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも見ることが出来ます。

このQRコードからどうぞ！



## 浜岡原発再稼働には 事前同意が必要



さくらいようこ 議員

**Q** 昨年度末、東海第二原子力発電所と周辺自治体6市村（水戸市、東海村を含む）は、再稼働には

**A** 市は、再稼働は認めないという方針を貫いている。しかし、各市町では、再稼働に対して慎重な姿勢が見られるものの、その判断には差がある。11市町が共に新協定を結ぶことは非常に難しいと考える。

**Q** P A Z地元4市が協定見直しの勉強会を始めるというが、U P Z市町での動きはあるか。

**A** 今後の動向を見ていく中で、4市で新たな動きや方針が出れば7市町でも検討を開始したい。

**Q** 学校給食は食育であり、教育の一環だ。物価の高騰や来年には

**A** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の検討が必要になる。

**Q** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の

**A** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の検討が必要になる。

**Q** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の

**A** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の検討が必要になる。

**Q** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の

**A** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の検討が必要になる。

**Q** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の

**A** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の検討が必要になる。

**Q** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の

**A** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の検討が必要になる。

**Q** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の

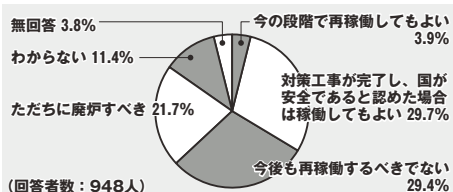
**A** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の検討が必要になる。

**Q** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の

**A** 消費税増税や物価の影響、給食実施回数が増があれば、改定の検討が必要になる。

### 9. 浜岡原子力発電所の再稼働について

問22 浜岡原子力発電所の再稼働について、どのようにすべきだと思いますか。



浜岡原子力発電所の再稼働に関する市民アンケート調査結果  
 (出典：平成29年度島田市総合計画市民意識調査報告書)  
 浜岡原発再稼働に関する市民アンケート結果



## 防犯カメラを 犯罪抑制に活用しよう



おおせきよみよ 大関衣世 議員

**Q** 市内における防犯カメラの設置状況はどうか。

**A** 平成29年度末時点で公共施設34カ所に187台設置している。

**Q** 設置費用はどのくらいか。

**A** 設置状況により違いがある。一例としては、平成28年度に市の施設に設置した際の費用は8台で126万円であった。

**Q** 通学路に設置されているか。

**A** 市が設置しているところはない。

**Q** 今後の設置計画、事業者および自治会への設置補助はどうか。

**A** プライバシーの保護や画像データの管理等の課題がある。一方で犯罪の抑止効果も認められる。社会動向や関係機関の協力を得て研究し、慎重に検討していく。

## ドライブレコーダー活用

**Q** 公用車の事故件数を伺う。

**A** 平成28年度24件、平成29年度25



六合駅駐輪場の防犯カメラ

件で、その内、人身事故は2件あった。

**Q** ドライブレコーダーの設置状況はどうか。

**A** 全車両317台（ゴミバス、消防車、ゴミ収集車等を含む）中、44台に設置されている。

**Q** 設置費用はどうか。

**A** 一台につき約3万円である。

**Q** 今後の設置計画はどうか。

**A** 車検や買い替え時等に合わせ、順次設置を進めていく。

## 骨髄ドナー啓発支援で 命をつなごう



しみずただし 清水唯史 議員

**Q** 島田市における骨髄バンク普及啓発の取り組みは。

**A** ドナー登録のしおりを成人式で新成人に配布したり、保健福祉センター窓口に置いたりしている。

**Q** 島田市内のドナー登録状況は。

**A** 平成29年度末時点で255人である。

**Q** 骨髄提供の支援策は。

**A** 市職員を対象として、ドナー登録や骨髄等の提供に伴う検査および入院の場合の特別休暇制度を設けている。

**Q** 骨髄バンク推進事業の課題は。

**A** 情報提供機会の不足、ドナー登録条件（年齢、体重、血圧、病歴、既往など）が合致しない人が多い。

**Q** 骨髄提供の課題は。

**A** ドナー登録者と患者が適合しても、提供条件（1週間の提供休暇が不可など）が合わず実施されない。

**Q** 静岡県内自治体での支援とその

**A** 内容は、静岡市、富士宮市、富士市、清水町の4自治体が、ドナー提供者に1日2万円、勤務事務所に1日1万円、7日を限度に助成している。

**Q** 島田市の今後の取り組みは。

**A** 島田市としての実施ではなく、国に対して議会と共に、全国一律で助成制度を要望していきたい。



新成人に配布される「ドナー登録のしおり」

## デマンド型実証実験 再度初倉で実施



よこやまかおり  
横山香理 議員

**Q** 実証実験の概要を伺う。

**A** コミバス等が運行していない谷口・大柳・中河・南原・岡田の5自治会でデマンド型乗り合いタクシーを実施。利用者数、乗り合いの頻度がどの程度あるか、コミバスとの接続による利用状況などを調査し、初倉地区全体における交通網の構築の検討材料収集として実施した。

**Q** 実際の利用状況は。

**A** 3カ月で251回のうち、乗り合い運行は23回であった。

**Q** 利用された人から改善してほしい点は上がっているか。

**A** 乗降ポイントを増やしてほしい、当日の予約を可能にしてほしい、などの要望があった。

**Q** 今後も実証実験を行うのであればどこで行うのか。

**A** あくまでも予定だが、引き続き同じ地域において、9月ごろから来年2月までの6カ月ほど行いたい。アンケート調査の結果や意見等を参考に、地元の

タクシー利用登録証		1
氏名	島田花子	
住所	島田市阪本〇〇番地	
同乗者氏名		
顔写真		

タクシー登録証書式

自治会長・町内会長、住民からの意見などを改めて伺いながら実施したい。

**Q** 今後はデマンド型一本に絞っていくのか。

**A** 方向性だが、1本の木で例えると太い幹や枝の部分はコミバスが担う。細い枝葉の部分はデマンド型タクシー、各地域における自主運行バス、それらを組み合わせながら構築していきたい。

## 蓬萊橋周辺整備に 市民の意見を！



もり しんいち  
森伸一 議員

**Q** 「蓬萊橋897・4茶屋」開設以来、5月末日までに訪れた観光客数はどのくらいか。また、この数の根拠は。

**A** 観光客数は有料で橋を渡った人数で、3万9891人だった。

**Q** 茶屋の畳付きの台は島田近くの木を使っているか期待していたが、違つてがっかりした。木のまち島田をアピールするものを考えてほしいがどうか。

**A** 店内に設置することはスペースの関係で無理だが、今後、更新時には検討したい。また、河川敷には木製ベンチが設置されているので、これを更新する際は国交省と協議しながら進めたい。

**Q** 蓬萊橋には3つの文学碑がある。作者の紹介板も加え、設置場所を決めてほしい。

**A** 紹介板の設置については国交省との打ち合わせが必要であるが、位置とともに「ミズベリング協議会」の協議の場で決めていきたい。



仮置きされた石原純、吉田絃二郎文学碑

**Q** 蓬萊橋近くの大井川に赤い藻の付着や悪臭がすることがある。「いこいの広場」として整備を考えた場合、大きなリスクだ。この対応をしっかりと協議する必要があると思うがどうか。

**A** 水質基準はクリアしているが、この対応は重要なことと認識をしている。工場関係者などしっかりと協議をしていきたい。

## 観光産業の 将来ビジョンを問う



すぎの なおき 議員  
杉野直樹 議員

**Q** 観光産業活性化のための、これまでの取り組みは何か。

**A** 当市の誇る歴史、文化、自然を満喫するための多様な施策を展開している。例えば、インバウンド対策（多言語ポータルサイトの作成、WiFi環境設備支援）、大井川鐵道のSLを活用したPRイベントを開催し、観光地としての当市の認知度向上を目指す。さらに、蓬萊橋89

**Q** 当市が考える観光産業の将来ビジョンはどのようなものか。

**A** 新たな観光資源の発掘と観光プログラム構築である。例えば、大井川越文化、牧之原開墾、蓬萊橋を絡めたストーリー

性を持った体験型・交流型のプログラムが考えられる。実現には市を挙げて取り組む必要がある。さらに、中期的な視点に立ち、国、県の動向や社会経済情勢の変化を踏まえた観光交流、観光振興を定めた（仮称）観光総合戦略を策定し、地域の活性化、稼ぐ観光を実現していきたい。

開港6年目のアウト・インバウンド別経済波及効果 単位：億円

項目	※1 アウトバウンド		※2 インバウンド			
	日本人旅客		日本人旅客	外国人旅客		
	(国内)	(海外)		(中国路線) (ソウル線)	(台北線)	
利用者数	20.8万人	5.3万人	9.9万人	16.7万人	3.1万人	2.9万人
※3 県内最終消費増加	32.5	17.5	34.2	67.8	11.1	10.7
※4 直接効果	29.4	14.0	31.5	50.8	9.6	9.9
※5 間接波及効果	24.5	10.1	23.6	48.2	7.3	8.5
※6 生産誘発効果	53.9	24.1	55.0	99.0	16.9	18.4
構成比(%)	17.3	7.7	17.6	31.7	5.4	5.9

出典：静岡県文化・観光部 空港振興局 空港政策課 富士山静岡空港地域経済波及効果より

増えるインバウンドはどこへ？

## 新学習指導要領への 準備は万全か？



いとう たかし 議員  
伊藤 孝 議員

**Q** 当市の学校の普通教室への無線LAN整備率は8・5パーセントで全国1718自治体中115位である（都道府県では静岡県は70パーセントで1位）。なぜ、このような整備の遅れが出ているのか。

**A** 非常にお金がかかるものであり、国は、財源を地方交付税という形で措置しているが、なかなかそれに見合った整備ができていないのが現状である。補助金という形であれば、特定の事業に補助していくことができるが、

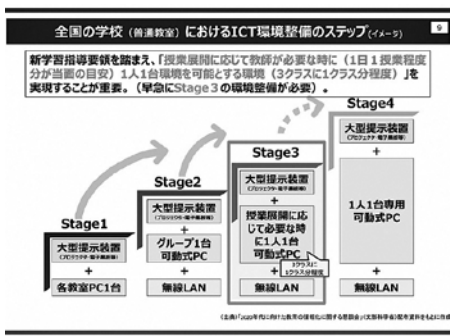
交付税という枠の中では思うように進められなかったのが実態と考えている。

**Q** 藤枝市・焼津市・菊川市は高い整備率になっている。当市の子どもが遅れをとってしまうことに對してどう考えているのか。

**A** 機器を「いかに活用するか」というところに力を入れている。少ない台数でいかに効果的に学習を成立させるかというところに力を入れ、これからも授業の充実に努めていきたい。

**Q** ステージ3（下図参照）はいつまでに達成しようという計画か。

**A** 2018年から2022年度までの「教育のICT化に向けた環境整備5カ年計画」の中で達成を目指していきたい。



文部科学省の資料から

## 効率的な 生ごみリサイクルを



よこたがわまさひと 議員

**Q** 一般廃棄物中の生ごみの割合はどの程度か。

**A** 約4割が生ごみで1万1000トン程度である。

**Q** 生ごみのリサイクルはどの程度か。

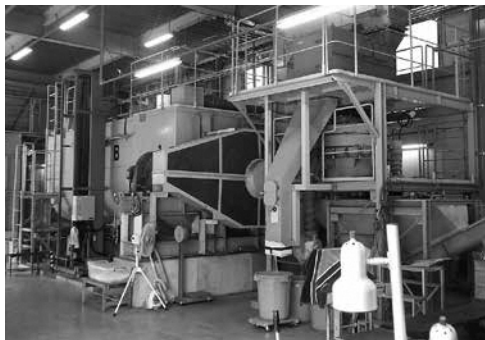
**A** 1万1000トンとは別に、事業者から持ち込まれた約60トンを堆肥化している。一般家庭向けには生ごみ処理容器（キエ一口）の貸し出しなどがある。

**Q** 食品リサイクル制度の改正に伴う島田市の一般廃棄物処理基本計画の変更はあるか。

**A** メタン発酵による再生利用の優先順位が3位から2位になっている。積極的な生ごみの再資源化を計画に反映するよう考えている。

**Q** 牧之原市のバイオマス発電所を視察した。島田市でも参考にしているか。

**A** 非常に有効な施設であると認識しているが、建設費やランニングコストが課題である。引き続き



島田市の食品残渣堆肥化設備

**Q** 田代の溶融炉を建て直すときは、炉の更新とともにゴミの減量や再利用も市全体で考える必要がある。COOLCHOICEの観点からも検討してはどうか。

**A** ゴミ処理に年間14億円の予算を使っている。市民への啓発と、食品リサイクルについて研究をしていきたい。

## 空き家・空地対策と 消防の課題



さいのよしはる 議員

**Q** 所有者不明の空き家問題や樹木の伐採等に関して、住民や行政はどこまでの対応が可能か。

**A** 個人財産であり、住民も市も対応には限界がある。市は所有者を調査して管理をお願いする。

**Q** 特定空き家の所有者に行政勧告ができる法改正があった（固定資産税の優遇が受けられなくなる・罰金や修繕、強制撤去等）。それには協議会の設置が必要となるが、対応をどうするか。

**A** 今年度中に「空き家等対策計画」を策定。周辺市町の動向を踏まえ協議会の設置を進める。

**Q** 国は、移住希望者に対して、農地と空き家をセットで売却や貸し出しをする「農地付き空き家」の指導を始めた。この制度をまろちづくりに生かせないか。

**A** 農家でなくても農地の権利取得が可能。町中の空き家活用でも中山間地の農地取得は可能。定住者増、放棄地対策の解消につながる。早急に取り組む。

空き家状況(H25年 総務省 住宅・土地統計調査)

	A	B	C	D
	居住世帯のある一戸建住宅の数	空き家となっている一戸建住宅の数	Bの空き家のうちその他の住宅の数	CがA+Bに占める割合
島田市	28,670戸	2,590戸	1,760戸	5.63%

島田市の空き家状況

**Q** 不足する消防団員確保の対策をどう考えるか。

**A** 家族支援は必要不可欠で、意識調査をする。市役所職員による機能別分団の創設を考える。

**Q** 現在、消防の管轄が焼津市・藤枝市を挟んだ「飛び地」では不自然。広域化の可能性をどう考えるか。

**A** さらに広がる広域化は望ましい姿。構成する3市2町の協議会の場で意見交換をする。

## 土地利用は 長期的視野に立ち進めよ



やまもとたかお 議員  
山本孝夫 議員

**Q** 補助金を使って青地（農業振興区域）となった農地は、世代が変わり20年、30年たっても所有者が自由に管理できない状況だ。マスタープラン策定の中で見直せないか。

**A** 現時点では考えはない。

**Q** 大雨が降るとたびたび浸水する地域がある。本来やるべき基盤整備が行われていないのでは。

**A** さまざまな検討をしている。

**Q** 以前から耕作放棄地の減少対策をしているが、耕作放棄地が増加している。なぜか。

**A** 対策に限界があると思っている。

**Q** 抜本的な解決策はないのか。

**A** なかなかないのが事実だ。

**Q** 外部の知恵を使って解決策研究会などを創設したらどうか。

**A** 検討、研究をしていく。

**Q** 大規模太陽光発電開発について、他市ではトラブルになっている。条例等の制定の考えはないか。

**A** 慎重に検討を進めたい。



茶畑風景も将来一変するかもしれない

**Q** 今後の工業用地整備の計画はないか。

**A** 当面は、新たな整備予定はない。

### 災害時火災防止のために

**Q** 近隣市では災害発生後通電再開時、通電火災防止のための「感震ブレイカー」設置に補助金を出して対策を進めている。当市でも検討しないのか。

**A** 家庭内地震対策の一つとして事業化を検討している。

## 納得できる 教育環境の実現を



ふじもとよしお 議員  
藤本善男 議員

**Q** 市は新たな教育環境の方向性を検討しているが、教育環境適正化委員会で議論された市の課題は何か。

**A** 子どもの利益を最優先することや再編後の地域活性化のための学校の活用、スクールバスの運用等が議論された。

**Q** 複式学級の現在の状況はどうか。

**A** 相賀小、湯日小に各1クラス、伊久美小に3クラスある。

**Q** 地域の意見交換会が予定されているが、保育園児の保護者にダイレクトメールは送ったか。

**A** 保育園を通じて保護者に案内を配布している。

### 金中跡地活用事業を問う

**Q** 株八ヶ岳モールマネージメントの事業案が選定されたが、事業遂行能力はどう評価しているか。

**A** 安定的な経営状態であり、今後安定した経営を期待している。

**Q** 土地貸付条件の根拠はどうか。

**A** 不動産鑑定士が総合的に評価した価格に基づき、土地の最低貸付月額を120万円とした。

**Q** 原状回復義務について、契約書上では、どう考えているか。

**A** 契約終了時に事業者が更地にして市に返還することを盛り込む。

**Q** これまで旧金中跡地を使用していた市民への対応は。

**A** 事前に情報を提供し、平成30年6月をもって利用できなくなることを周知している。



アウトレット進出が期待される旧金中跡地

## 守れるか？島田の茶業



やぎのぶお 八木伸雄 議員

**Q** 「県産一番茶単価最低水準」との新聞報道があった。さらに10年前に比較し、販売額は5割程度だ。現状を認識する中で荒廃茶園対策を伺う。

**A** 基盤整備を積極的に進める。改植の補助金は、国の補助に市が1割上乘せする。また、転作を奨励し補助をしていく。

**Q** 島田市緑茶化計画にふさわしい景観を維持すべきだ。家の周りや幹線道路沿いの荒廃対策を進めてほしい。収入が上がらなければ荒廃する。対策はどうか。

**A** お茶の付加価値を高めるために、輸出用有機碾茶を支援していく。碾茶の栽培は、山間地では茶価相場と害虫対策の面でも有利な栽培だ。被覆資材や認証の経費、残留農薬検査など有機JASを支援していく。

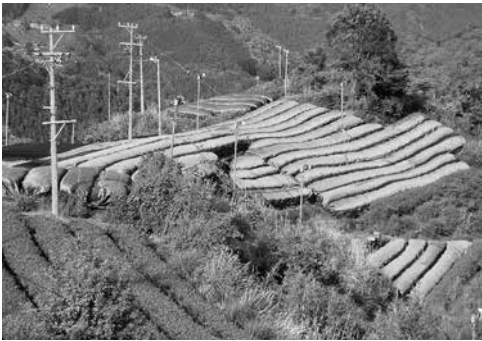
**Q** 認証に対する補助は農家だけでなく茶工場にも補助できないか併せて、慣行栽培の碾茶や市南部での品質向上のためのかぶせ

茶を推進すべきだ。

**A** かぶせ茶用の資材は、認定農業者制度で支援してきたい。

**Q** 産地間競争は激化する。島田市は、品質で鹿児島県や県内産地にも勝っていかなければならない。被覆作業は人手を要する。共同作業の支援をすべきだ。

**A** 法人による共同化を農協と共に推進し、かぶせ茶の導入を推進してきたい。



山間地における碾茶の栽培

## 島田市国土強靱化

### 地域計画案とは？



かわむらはるお 河村晴夫 議員

**Q** 島田市国土強靱化地域計画案はどのような位置付けなのか。

**A** 第2次島田市総合計画の分野別計画に対して、国土強靱化の観点から指針を付与するものである。また、国からの主な補助は、8府省25件の補助メニューがあり、受けられる可能性は極めて高くなる。

**Q** 平成30年4月11日、大分県でも土砂災害があり、6人の命が奪われた。当市内でも、800カ所以上ある危険箇所において、どのような対策をしていくのか。他地域での災害が発生した場合のリスクマネジメントの手法を参考にできないか。

**A** 特別なことはしていない。大井川の合同パトロール、週末から3回に分けての土砂のパトロール。県、市、警察、消防と一部住民も入って、年間を通じた取り組み、水防の点検等、通常行っている取り組みで事足りる。



“笑顔あふれる安心のまち島田”を目指して

## 安心して在宅で看取る 体制の整備を



むらたちづこ  
村田千鶴子 議員

**Q** 新市民病院は、急性期機能を中心とする医療に重点を置くこととし、療養病床は整備しない方針だが、公的な長期療養病床の整備を望む声にどう対応するか。

**A** 今年度から地域医療センター（市民病院内）に入退院支援室を設置し、近隣の療養病床や介護施設との連携に努めている。

**Q** 以前に療養病床を補完するために整備すると答弁があった。在宅医療強化の進捗状況はどうか。

**A** 平成28年度から、市の訪問看護ステーションの24時間対応や地域医療関係者の多職種の研修会、診療所医師の負担軽減、もしもときのリビング・ウィル島田版の普及に努めている。

**Q** 当市は、国が進めている「介護医療院」の整備はできない。それに代わる受け皿を伺う。

**A** 中学校区に一つを目標に小規模多機能型居宅介護施設を整備中。今年度、初倉地区を整備すれば完了。また、認知症高齢者のグ

ループホームを一つ整備する。

**Q** 在宅医療を推進するならば、在宅専門（往診）の医師の確保が課題である。公的機関の責任として療養病床の受け皿づくり、安心して最後は在宅で看取る医療体制の整備についてはどうか。

**A** 市民病院や医師会、医療・介護関係者と連携を十分に取り、今後、想定される課題について適切に対応できるように努める。



窓口：包括ケア推進課 ☎34-3296

## 新たな障害者計画 課題解決となるか



おおむらやすし  
大村泰史 議員

**Q** 重度訪問介護の対象拡大は生かされているか。

**A** 対象要件の該当者はいるが、居宅介護や訪問看護等を組み合わせ利用しており、重度訪問介護は利用していない。

**Q** 市営住宅への受け入れ推進はリフォーム等を想定しているか。

**A** 障害の特性により対応は異なるが、リフォームについても必要に応じて対応していく。

**Q** 医療的ケアを必要とする児童受け入れ施設の取り組みはどうか。

**A** 重度障害者の通所施設は不足が見込まれるため、看護師の確保と合わせて施設整備を推進する。

### 子育て支援の環境整備は

**Q** 当市の子育て施策は、移住の動機となっているか。

**A** 移住決定の動機はさまざま要素により判断されるが、昨年の移住実績19世帯の内、16世帯が子育て世代であり、評価されて

いると考える。

**Q** 自然環境を生かした自然保育についてどう考えるか。

**A** 自然保育は保育・幼児教育の一つとして大変有効だと考える。

**Q** 子育て支援団体での有償ボランティアの考えはどうか。

**A** 謝礼を支払うことにより雇用と非雇用の関係が生まれ、労働法の最低賃金を無視した形となるため、公では認められないと考える。



自然環境を生かした活動の今後は

## 教育環境の整備は 行政の責務！



ひらまつよし のり  
平松吉祝 議員

**Q** スポーツや文化の少年団活動を  
どれだけ把握しているか。

**A** スポーツ少年団は7種目34団体、  
さらに合唱団、ボーイスカウト  
など文化や自然体験活動を行っ  
ている団体がある。

**Q** 中学校の部活動の数、部員数が  
減っている。どう考えるか。

**A** 5年間で2つの運動部が廃止と  
なった。少子化に伴い部活動の  
維持は一層困難である。合同  
チームの検討や外部指導者の一  
層の配置等に取り組んでいく。

**Q** 部活動指導者の外部者登用の実  
態はどのようになっているか。

**A** 平成30年度26人に委嘱した。  
**Q** 中学生硬式野球のグラウンド整  
備はどうなっているか。

**A** 現時点において、新たな施設を  
整備する計画はない。

**Q** 市営球場の第2球場のネットを  
高くして使うのはどうか。

**A** 使えないことはないが、相当な  
金額がかかり、現在のところは  
考えていない。



子どもたちは私たちの宝です

**Q** 第4種の公認陸上競技場でなく  
なった島田市陸上競技場の4種  
公認を守れないか。

**A** 費用対効果、練習場としては確  
保できていることから公認をと  
ることだけがベストと考えない。

**Q** 「できない、予定に入っていない」という答弁も、今後言っ  
てもらいたくない。

**A** 議論を重ねて予算の配分をして  
いる。誠実にやっていく。

## 地域経済分析システムで 見た当市は



さいとうかずお  
齊藤和人 議員

**Q** 地域経済分析システム（RES  
AS）で見ると、地域経済  
循環率が近隣市と比べて低いが、  
対策はどうか。

**A** 第3次産業での地域外への消費  
の流出が大きいことから、魅力  
ある買い物環境をつくり、地域  
内消費の拡大に努める。

**Q** 地域でお金を回すために、島田  
市中小企業・小規模企業振興基  
本条例をどう生かすか。

**A** 推進会議を設け、企業経営の安  
定や人材の確保、労働環境の整  
備に取り組んでいく。

**Q** 付加価値額からみた産業構造は  
今後、どのようになるか。

**A** 高齢化の進行、また、ICTの  
発達が目覚ましいので、介護や  
医療、情報通信などの産業が拡  
大していくと考えている。

**Q** 販<sup>販</sup>わい交流拠点のマルシェでの  
農産物の供給は大丈夫か。

**A** 大井川農協が主体的に進めるこ  
とであるため、行政はその支援  
をしていく。



産業構造は今後どのようになるか





# ザッ 討論



市議会定例会最終日に行われる議案採決の前に、賛成・反対の意見を表明する「討論」を行います。  
6月定例会では、2議案について延べ4人の議員が賛成・反対の意見の表明し、討論を行いました。

## 【議案44号】平成30年度島田市病院事業会計補正予算（第1号）

### 反対

島田市民病院における平成29年度の外来患者数は延べ22万7,693人。そのうち紹介状なしの特定初診料（1件2,160円）は6,557件で全体のわずか2.9パーセントだ。病診連携が進んできたとはいえ、主治医がいない方、早期の診断と治療を求め直接来院する方に、本年10月から5,400円に引き上げた特定初診料を徴収することは容認できない。引き上げによってさらに患者を2割減らそうとしている。これ以上の高額負担を課する道理はない。

### 賛成

島田市民病院では、これまでの特定初診料の設定により特定初診料を支払う患者は徐々に減少している。このたびの診療報酬改定に伴う特定初診料改正により受診抑制につながるものが今後も期待でき、受診患者が2割程度減少することを補正予算としている本議案の内容は、受診抑制を目指す特定初診料徴収の趣旨とも整合性がある内容と考え、同議案に賛成する。

## 【議案第48号】島田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

### 反対

本条例改正は、島田市民病院に紹介状なしで受診した場合の特定初診料2,160円を平成30年10月から、さらに5,400円に引き上げ、また新たに特定再診料2,700円を規定するものである。保険適用外の高額料金を徴収することで、受診を抑制し、患者を閉め出し、ひいては増え続ける医療費の削減を図る国の政策に従う条例改正であり、容認できない。

### 賛成

特定初診料改正や特定再診料を規定する内容は、診療報酬で定められた、紹介状なしで受診する方に対して病院が定める最低額5,000円や、他の医療機関を受診するよう紹介を受けても患者が引き続き大病院での受診を希望する場合の再診料の最低額2,500円に消費税相当額を上乗せした金額であり、診療報酬改定の内容を遵守しつつ、低所得者にも一定程度の配慮をした料金設定である。今回の特定初診料の対象範囲拡大が地域医療支援病院の一つである島田市民病院の負担軽減にも一定程度つながると考える。

## 【採決結果一覧】賛成・反対の分かれた2議案の結果を掲載しています

氏名	伊藤 孝	横山 香理	福田 正男	森 伸一	山本 孝夫	村田千鶴子	曾根 嘉明	平松 吉祝	藤本 善男	八木 伸雄	清水 唯史	大関 衣世	大村 泰史	河村 晴夫	齊藤 和人	杉野 直樹	横田川真人	桜井 洋子	佐野 義晴	
	さきょうどう島田					さきがけ島田		創造島田			清風会				無会派					
○=賛成 ×=反対																				
【議案第44号】 平成30年度島田市病院事業会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
【議案第48号】 島田市病院事業の設置等に関する条例の 一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※議長（大石節雄）は採決には加わりません。（並び順は会派ごとの議席順） ※「無会派」とは、会派に属さない議員のことです。

# 政策提言に向けて ～各常任委員会での検討課題～

平成29年度の議会改革に関する特別委員会の中間報告を受け、島田市議会では、議会報告会（議会と語る会）で集約した市民の意見を政策提言に結びつけるべく、各常任委員会で議員委員間討議や視察を積極的に行っていくこととしました。

平成29年11月に開催した「議会と語る会」における、市民との意見交換の中で出された建設的なご意見について、それぞれの会場（市役所会議棟、ほか5カ所）に参加した議員が事後検討会を開き、政策課題とするものを絞り、平成30年5月9日（水）の3常任委員会で、それぞれが取り組んでいく課題の共通認識を図りました。今年度の1年間をかけ、議員（委員）間討議や視察、当局からの情報提供などを得て、政策提言に結びつけていきます。

各常任委員会の検討課題は次のとおりです。

## 総務生活常任委員会

- 交通弱者対策（デマンド交通・自主運行バス）
- 移住定住促進（空き家）対策

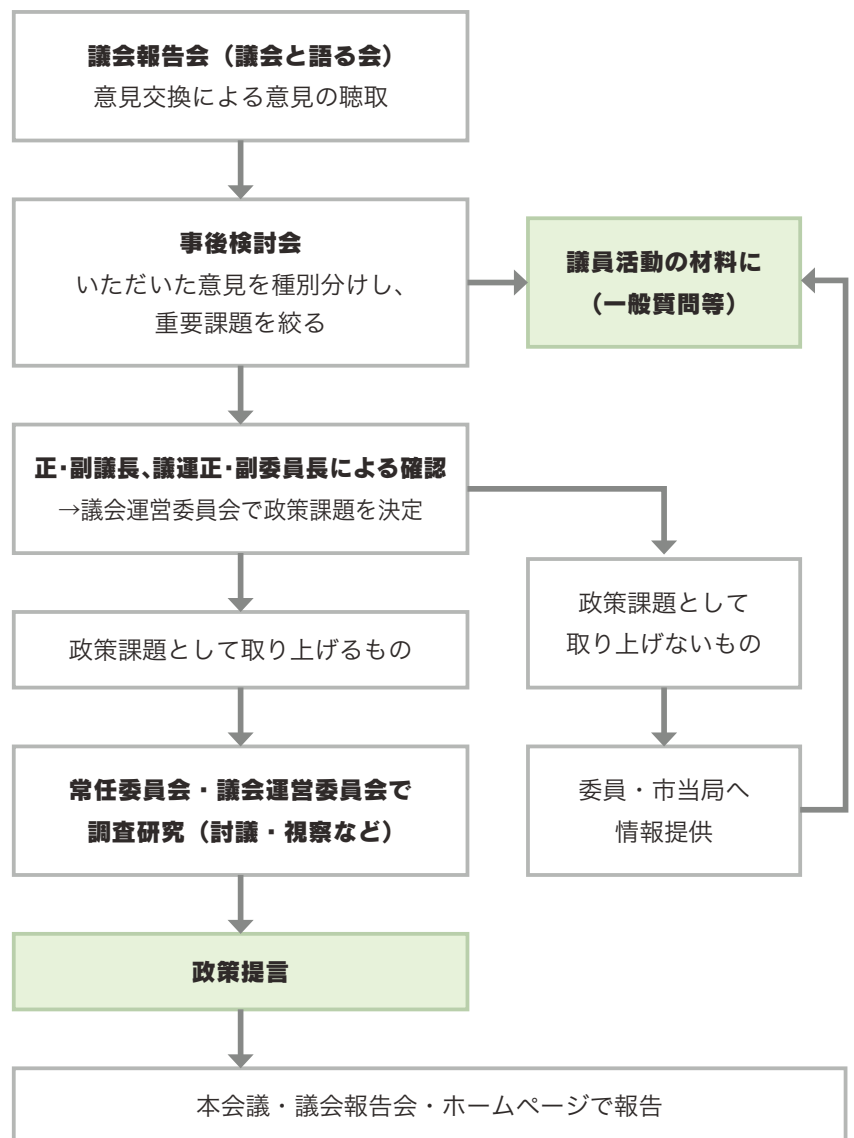
## 厚生教育常任委員会

- 医師確保対策
- 田代の郷整備事業について

## 経済建設常任委員会

- 中心市街地活性化策
- 賑わい交流拠点整備事業について

### 政策提言までのフローチャート



※議会報告会（議会と語る会）では、政策課題としたご意見以外にも多種多様なご意見を頂戴しています。それらについても、議員が一般質問や市当局への情報提供を経て、一つでも多くの疑問・不安を解消できるよう努めていきます。

報告します！

## 平成29年度 政務活動費使用内訳

政務活動費は、地方自治法に基づき地方議員に支給される経費のことで、各地方議会により金額や交付要件が定められています。

島田市議会では、議員1人に年額20万円を上限として交付しています。残額は返還、超過額は自己負担としています。平成29年度は議員の改選期であったため、選挙の前後（4月分と5月～平成30年3月分）に分けて交付しました。

### A 調査研究費

市の事業や財政などに関する調査研究などに要する経費

### B 研修費

他団体が開催する研修会への参加に要する経費

### C 広報費

議員の活動や市政について市民へ報告などをするために要する経費

### D 公聴費

市民からの市政や議員の活動に対する意見・要望の徴取に要する経費

### E 資料作成費

政務活動のために必要な資料の作成に要する経費

### F 資料購入費

政務活動のために必要な図書や資料を購入する経費

【4月分(改選前)】

(単位：円)

議員名	交付額	支出内訳							支出合計	自己負担額	返還額
		A 調査研究費	B 研修費	C 広報費	D 公聴費	E 資料作成費	F 資料購入費	その他の経費			
佐野義晴	16,666	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,666
藤本善男	16,666	0	0	0	0	0	5,864	0	5,864	0	10,802
八木伸雄	16,666	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,666
合計	49,998	0	0	0	0	0	5,864	0	5,864	0	44,134

※申請があった3議員に交付

【5月～平成30年3月分(改選後)】

議員名	交付額	支出内訳							支出合計	自己負担額	返還額
		A 調査研究費	B 研修費	C 広報費	D 公聴費	E 資料作成費	F 資料購入費	その他の経費			
伊藤 孝	183,326	26,778	73,153	4,035	0	0	15,315	18,253	137,534	0	45,792
大石 節雄	183,326	111,053	0	0	0	0	0	0	111,053	0	72,273
大関 衣世	183,326	32,107	59,160	0	0	0	2,160	0	93,427	0	89,899
大村 泰史	183,326	26,458	128,222	0	0	0	2,700	0	157,380	0	25,946
河村 晴夫	183,326	24,778	157,504	1,554	0	0	2,700	0	186,536	3,210	0
齊藤 和人	183,326	26,778	98,340	1,036	0	0	20,049	0	146,203	0	37,123
桜井 洋子	183,326	66,500	0	0	0	0	26,114	0	92,614	0	90,712
佐野 義晴	183,326	84,275	37,180	0	0	0	1,620	0	123,075	0	60,251
清水 唯史	183,326	91,878	78,780	0	0	0	14,688	0	185,346	2,020	0
杉野 直樹	183,326	112,582	24,000	0	0	0	0	0	136,582	0	46,744
曾根 嘉明	183,326	64,186	116,680	0	0	0	0	0	180,866	0	2,460
平松 吉祝	183,326	64,186	116,680	0	0	0	0	0	180,866	0	2,460
福田 正男	183,326	26,778	127,440	0	0	0	21,124	0	175,342	0	7,984
藤本 善男	183,326	92,198	109,180	0	0	0	18,710	0	220,088	36,762	0
村田千鶴子	183,326	26,320	73,340	0	0	0	9,411	0	109,071	0	74,255
森 伸一	183,326	19,278	167,920	777	0	0	12,730	0	200,705	17,379	0
八木 伸雄	183,326	54,332	61,360	38,880	0	0	8,887	19,480	182,939	0	387
山本 孝夫	183,326	0	105,922	518	0	0	22,690	0	129,130	0	54,196
横田川真人	183,326	84,275	24,000	0	0	0	0	0	108,275	0	75,051
横山 香理	183,326	26,778	117,700	518	0	0	2,700	0	147,696	0	35,630
合計	3,666,520	1,061,518	1,676,561	47,318	0	0	181,598	37,733	3,004,728	59,371	721,163

※政務活動費収支報告書は、ホームページ・情報公開コーナー（市役所、金谷南支所、金谷北支所、川根支所）で閲覧することができます。

議会活動レポート

# 「伊豆・村の駅」「伊豆ゲートウェイ函南」で視察研修会を実施しました

平成30年度から本格的に始まる、新東名島田金谷インターチェンジ周辺地区における「賑わい交流拠点整備事業」を重要プロジェクトと捉え、4月24日（火）に先進地の視察研修を行いました。

当日は午前中に、民間事業者（株村の駅）が設置・運営している「伊豆・村の駅」において、施設の概要や運営方法、農産物の売り上げの特徴などの説明を受けました。

午後には、PFI事業の手法により建設・運営している「伊豆ゲートウェイ函南」を視察し、当該施設の建設の経緯、運営手法の特徴、事業成果等について説明を受けました。

議員相互での共通認識を深め、今後の議会活動に生かせる有意義な視察となりました。



「伊豆ゲートウェイ函南」視察の様子

## 編集後記

6月定例会から議会だより編集に関する特別委員会が新メンバーでスタートしました。

メンバーの内訳は、前任から引き続き委員を務める人が3人、新たな委員が4人で、合計7人。委員長には杉野が就任し、副委員長には清水が就任しました。

現在の議会だよりは、4年の歳月をかけデザインや内容を研究・検討し、完成しました。今後の方向性としては、SNSとの連携を研究し、市民はもちろん、市外の方にも島田市議会の活動を知っていただけるよう、新たな手法に取り組んでいきたいと思えます。

これからも、市民にとって読みやすく、親しみやすい議会だよりを目指して編集作業を進めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 杉野 直樹
- 【副委員長】 清水 唯史
- 【委員】 大関 衣世、大村 泰史、河村 晴夫、齊藤 和人、横山 香理

## 9月市議会定例会傍聴のお知らせ



**議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！**

傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場（市役所3階）へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
8/26	27	28	29	30	31	9/1
					本会議 (初日)	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (議案質疑)	常任委員会 (厚生教育)	
16	17	18	19	20	21	22
	敬老の日	常任委員会 (経済建設)	常任委員会 (総務生活)			
23	24	25	26	27	28	29
秋分の日	振替休日				本会議 (最終日)	

☆開会時間は…  
本会議 9:30 常任委員会 9:30

あなたのパソコン・スマホ等で、オンラインでも傍聴できます。  
水色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。